



さわやか通信

令和2年8月号
三芳東中学校
さわやか相談室

暑い日が続いていますが、みなさん調子はいかがですか？最近のニュースで、文具の大手メーカーの販売する履歴書から性別欄が削除されたものが発売されるという話題がありました。今月のさわやか通信では、多様な「性」について少しだけ紹介します。

■ 性別とは？

私たちの「性（セクシュアリティ）」は、いわゆる「身体の性」だけではなく、「こころの性」「好きになる性（どのような性別の相手を恋愛対象とするか）」「表現する性（自分の性別を服装、話し方、振る舞い方などどのように表現するかというもの）」を含めた上で考える必要があります。つまり、性別は身体の性だけで決まるものではなく、その多様なあり方は人の数だけあるとも言われています。しかし、個人の特性としてではなく、社会の中ではまだ「男女」という二種類の分類の中で期待される役割や行動、特徴があるという現実が根強く残っています（男の子は青、女の子はピンク、という分け方など）。



■ LGBT+とは

みなさんはLGBT+という言葉を知っていますか？これはレズビアン（心の性が女性で女性を好きになる人）、ゲイ（心の性が男性で男性を好きになる人）、バイセクシュアル（女性も男性も好きになる人）、トランスジェンダー（体の性と心の性が一致しない感覚を持つ人）の4つの頭文字を合わせた言葉です。+とついているのは、上記の4つ以外にも、例えば心の性が男女どちらかに分けられない人、女性と男性の中間、他者に対して恋愛感情を持たない人など、他にも多くの性のあり方が存在することを示すためです。

■ 友達から相談されたら

「自分らしくあること」が周囲の人や社会的な期待に沿わない場合、人知れず苦しい思いを抱えている人たちは少なくありません。ある調査によると、日本では100人中6~7人がLGBT+と言われています。もし、友達からLGBT+であることを打ち明けられた時には、否定したり自分の考えを押し付けたりせず、まず最後まできちんと話を聞いてあげてください。それから、「どうして伝えてくれたの？」「何か困っていることはある？」ということを探ってみてください。問題に対処するために大人の協力が必要であれば誰か信頼できる大人と一緒に探してあげてください。それだけでも、大きな助けとなることがあります。



●相談室の本の紹介

『13歳から知っておきたいLGBT+』、アシェリー・マーデル[著]、ダイヤモンド社

●図書室にある本

『「ふつう」ってなんだ？LGBTについて知る本』
殿ヶ谷 美由記（著）
ReBit（監修）

・各章の初めにカラーの漫画がついています。とても綺麗な絵で読みやすく、オススメです。図書室に行った時にぜひ手にとってみてください。



今月のお知らせ

■カウンセラー来校日
毎週木曜日
10:00-16:00

面談を希望の場合は、担任の先生または、相談員まで一言その旨を伝えてください。